

# 防災だより



消防本部防災対策課 電話：72-0131

[第46号]

## 「ぼうさい出前講座」で 地震・津波大規模災害への備えを学ぶ

防災対策課では、各地区の自主防災会や各種団体が行う避難訓練や研修会等で、防災・減災を自分事として考えていただくために「ぼうさい出前講座」を開催しています。

講座では、現在想定される最大級の自然災害を「南海トラフ巨大地震」と捉え、日頃からどう備えるか、災害が発生したときにどう命を守る行動をとるか学習する機会としています。

政府の地震調査委員会では、今後30年以内の発生確率をこれまで「80%程度」としていましたが、最近になって「60~90%程度以上」と改めています。なお、これまでと同様に高い確率であることに変わりありません。皆さんも自助・共助の重要性を認識し、もしもの災害に備えましょう。



### ■ 愛南町の地震・津波の規模 (R7.3.31国発表)

**最大震度：6強 最大津波高：17m 津波到達時間：13分**

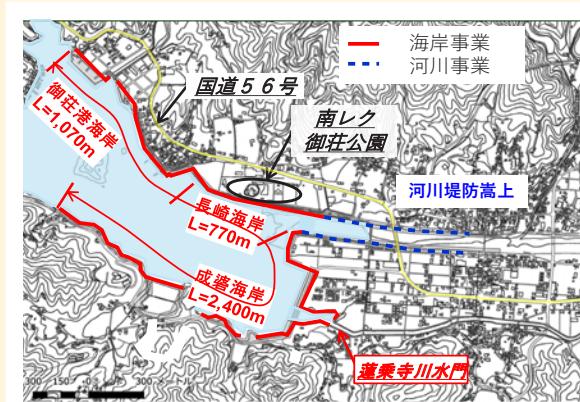
※国が示した新たな被害想定を受けて、現在県はその詳細を調査しており、今年度中に新たな被害想定を公表する予定です。中間報告(R7.9)では **御荘港(最大)：8m 48分** と報告されました。

最近の「出前講座」で次のような質問がありました。関心が高い事業でもあり、お知らせします。

Q：御荘湾で防潮堤の工事を行っていますが、その内容を知りたい。現在の防潮堤の高さは十分か？その効果は？また、蓮乗寺川の河口では、水門の工事が行われているが、僧都川の津波対策はどういうに行われるのか？河川に関する計画についても教えて欲しい。（平成五常会出前講座より）

**[工事主体：愛媛県（愛南土木事務所）に聞きました]**

A：県では、右の図のとおり御荘湾において防潮堤を整備しています。津波を乗り越えさせないようにするには、巨大な防潮堤が必要となり、景観や日常生活に影響を与えること、および工事完成までに長い年月を要することが考えられます。このため、早期に津波被害の軽減効果が得られるように、現在の堤防高よりも2m前後高い防潮堤を整備しています。



### 【効果】

- 浸水が広がる時間を遅らせることで避難する時間をかせぐ。
- 浸水深や浸水範囲を減少させ建物等の被害を軽減するなど速やかな復旧・復興に備える。
- 僧都川では、御荘湾と同様の考え方で河口から觀栄橋の下流付近において、堤防の嵩上げを検討しています。